

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	作業センター所長 田邊 由洋	
都整-43	実施事業	作業センター事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 作業センター
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。
効果	安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	115,485	118,381		当初予算(千円)	150,533		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	115,485	118,381		一般財源	150,533		
	人員配置数	24.5	23.5		人員配置数	22.0		
	人件費(千円)	181,908	176,914		人件費(千円)	167,809		
事業運営	総事業費(千円)	297,393	295,295		総事業費(千円)	318,342		
	市民1人当りの経費(円)	1,681	1,673		市民1人当りの経費(円)	1,806		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	道路・河川、緑地等の維持管理は、市民の快適かつ安全な生活には必須であり、常に市民生活に不可欠であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	道路の交通の安全性の確保、河川・緑地の保全、側溝、管水路のしゅんせつなど、市民の社会基盤の保全を行っており、市民生活の安全性、利便性への迅速な対応に努めていく。 市民生活へ貢献寄与しており、迅速に成果を出している事業となっている。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	要望に対して、未処理補修要望箇所が増加している。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	一層の事務効率化を図るとともに、外部委託の積極的な活用を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	経年劣化による舗装の補修や、河川・緑地の保全といった要望が増加しており、一方、職員の高齢化・減員により、要望処理率の低下が懸念される。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	要望処理率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
作業センターの業務は、修繕要望等に対する処理であるため、その処理率の高さが市民の快適な生活の指標と考えられる。	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	
	実績値	90.0	90.0	90.0				
	達成率	94.7%	91.8%	91.8%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	事務の効率化、外部委託の積極的活用などを図るとともに、緊急時の対応を含めてより迅速な処理を可能とし、要望処理率の向上に努める。
-----------------------	---